

中央大学 会計人会 会報

発行所 中央大学会計人会

〒115-0045 東京都北区赤羽1丁目52番1-501号田口ビル

税理士法人 石亀総合会計事務所

<http://chudai-kaikeijin.jp>

発行人 会長 石亀 邦俊



会計人の今後の展望は明るいかそれとも暗いか？

～会計業界の置かれている現状と課題～

会長 石亀 邦俊

中央大学会計人会の会員の皆様方には、会務運営にご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。本会は、質実剛健の校風を継承し、会員相互の融和の増進をはかりつつ、職業会計人の資質の向上と学術の研鑽をめざし、もって母校である中央大学の振興に寄与することを目的するとあります。

その目的にそって、昭和36年に設立され今年で64年の歳月を迎えようとしています。

その間に我が会計人業界も大きな変化が見られました。

その変化に対して、制度上良くなったと思う人、悪くなったと思う人と意見が分かれることと思われま

す。ここに来て、会員である税理士から、次のような問い合わせがありました。

一つは、税理士業の将来は期待できるだろうか？

二つ目は、格差社会の顕在化と一層の進行に胸と頭が痛みます。

この質問には大きな問題が含まれていると思われま

す。その質問に対する背景は、現在の社会現象そして取り巻く環境の変化のなかで我が会計人業界もが目まぐるしく変化をしているからと思われま

す。近年、「AIによって税理士の仕事は将来なくなってしまう」とか、『AIロボットが税務相談を行う』と

か「税務行政のデジタル化」、「税務調査にAI活用（対象会社の選定、調育対象項目の選定など）」とか、よく耳にすることが多くなりました。また税理士不要論のような極論まで見かけるようになりました。このような現象がでてくる背景は、AI等に対する疑念を容認する人やAIによって影響のある企業（税理士会等含めて）の取組みが遅れていることが起因しているためと思われます。手遅れにならないようにしっかりした調査と取組みを期待したいと思われ

ます。一方で急速なAIの進化は、私たちの生活や産業に大きな変化をもたらし、ますます欠かせない存在とも

なっています。税理士業界においても、AIの進化は革新をもたらし、新たな未来が待っているとも言われています。

わが会計人会ではいち早く中央大学の3人の教授をお招きし、AIについての勉強会を行いました。その内容については、会報の別冊号に掲載をいたしております。参考にさせていただければ幸いです。

終わりに臨み、会員の皆様方には、この難しい時代を乗り切っていただき、税理士業界等が沈没しないことを願い、皆様方のご事業が発展をされますことご祈念申し上げ筆を納めます。



令和6年度 第64回定時総会報告

会長 石亀 邦俊

去る令和7年6月24日（火）中央大学駿河台キャンパスにて「令和6年度（第64回）定時総会が開催されました。

定時総会に提出された議案内容は次の頁に記載の通りですが、全会一致で承認可決されましたことをご報告申し上げます。

恒例によって定時総会の前に理事会が開催され、そのあとに第一部の研修会が開催され、「AI、DXとどう向き合うか～働き方の変化と今後求められる改革～」と題して、中央大学総合政策学部教授である川崎一泰（かわさき かずやす）先生に講演をしていただきました。

その講演内容につきましては、別冊号に掲載しましたので、お読みいただければ幸いです。

第2部では定時総会が開催され全会一致で承認可決をしていただきました。

そのあとの第3部の懇親会は、駿河台の場所からお茶の水駅近くの湯島にある東京ガーデンパレスに移し、友好会計人会の代表の方々を交え、和やかなムードのもとで懇親を深めました。

友好会計人会の皆様方とはお酒を飲みかわすだけでなく、友好大学会計人会の皆様方から各大学会計人会が抱えている問題についてもお話をさせていただきました。そこで出た共通の問題は新入会員の入会が減少傾向にあり、このままでは会の維持が難しくなるというお話を聞きました。大変参考になるお話であったと思われまます。

会員各位の温かいご支援に感謝を申し上げます。

それでは、令和6年度（第64回）定時総会内容を報告させていただきます。

有難うございました。

(I) 令和6年度 事業報告書

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

1. 会議等

(1) 令和5年度 定時総会 (第63回) ・研修会

日 時 令和6年6月24日 (月)

午後3時から7時30分

会 場 中央大学駿河台キャンパス
18階第一部 研修会 (受講時間認定研
修) 18階会議室講 師 佐藤 信行 先生
(中央大学法科大学院教授)演 題 「AIとは? AIによって
我々の業務はどのように変
化するか?」第二部 定時総会18階会議室
定時総会提出議案審議第三部 懇親会
会場東京ガーデンパレス
(東京都文京区湯島1-7-5)(2) 役員会 (正副会長・理事・監
事) 開催

日 時 令和6年2月16日 (金)

午後5時～7時

会 場 中央大学駿河台キャンパス
18階 会議室

議 題 4月1日開催の駿台会計人俱

楽部との合同観桜会について

(3) 役員会 (正副会長・理事・監
事) 開催

日 時 令和6年6月24日 (金)

午後3時～3時30分

会 場 中央大学駿河台キャンパス
18階 会議室

議 題 定時総会提出議案審議

(4) 役員会 (正副会長・理事・監
事) 開催

日 時 令和6年9月20日 (金)

午後5時～7時

会 場 中央大学駿河台キャンパス
18階 会議室議 題 ①第33回 中央大学ホーム
カミングデー開催の件
令和6年10月27日 多摩
キャンパスにて②第26回全国大会計人会
サミット開催参加の件
令和6年11月2日 (土)
開催地 香川県香川大学
幸町キャンパス

香川大会計人会主催

③大会計人会ゴルフコンペ
開催

令和6年11月12日開催

中大会計人会が優勝

④その他

(5) 監事会

日 時 令和6年4月22日 4時
会長の事務所において監査
実施

税務相談会相談員として4名
参加

ホームカミングデーの協賛金
として景品(旅行券)提供

2. 広報活動

(1) 会報 第36号・別冊第36号発
行(令和6年8月9日)

別冊テーマ 「AIとは何か 専門職
へのインパクトを考え
る」
中央大学法科大学院教
授・中央大学副学長佐
藤信行教授

(2) 会報 第37号・別冊第37号
発行を12月中に発行の予定でいた
が、原稿をお願いしていた、中央大
学法学部教授の工藤 裕子先生が
体調を崩したため原稿が遅れ、翌
年1月に発行となった。

3. 組織活動

大学会計人会ゴルフコンペ 大会
参加者3人今大会にて優勝する。

4. 大学・大学学員会関係

(1) 第33回中央大学ホームカミング
デー団体参加
開催日 令和6年10月27日

(2) 第26回全国大学会計人会サ
ミット団体参加

開催日 令和6年11月2日
主催 会計人会 香川大学会
計人会大会参加者3人

(3) 友好大学会計人会総会等参加

①駿台会計人倶楽部合同研修会・
観桜会

今回の開催は当会が主催会
令和6年4月1日 上野精養軒
にて開催 当会より20名参加

②友好大学会計人会定期総会等に
参加

青学会計人倶楽部(7月1日)
日本大学税理士桜門会(7月6日)
駒沢大学会計人会(7月20日)
専修大学会計人会(7月26日)
税理士三田会(8月24日)

税理士稲門会(8月31日)

法政会計人会(9月24日)

駿台会計人倶楽部懇親忘年会
(12月6日)

(4) 中央大学学員会 支部長会・
定時評議員会・定時学員総会
等に参加

- (5) 不動産建設白門会30周年記念式典・祝賀会 参加(11月14日)
- (6) 社会保険労務士創立20周年記念祝賀会(11月16日)
- (7) 中央大学公認会計士試験合格者祝賀会(12月16日)

(Ⅱ) 令和6年度

収支報告書並びに財産目録

1. 令和6年度 収支報告書

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

中央大学会計人会

【単位：円】

収入の部			
科目	令和6年度予算額	令和6年度決算額	差 額
通常会費収入	2,000,000	1,050,000	950,000
支援金収入	600,000	275,000	325,000
親睦会会費収入	200,000	0	200,000
雑収入	100,000	50,000	50,000
利息収入	3,000	1,677	1,323
当年度収入合計	2,903,000	1,376,677	1,526,323
前期繰越収支差額	16,707,598	16,707,598	0
収入合計	19,610,598	18,084,275	1,526,323

支出の部			
科目	令和6年度予算額	令和6年度決算額	差 額
母校支援金	300,000	300,000	0
会報費	1,200,000	492,625	707,375
総会費	200,000	192,800	7,200
事務局費	120,000	120,000	0
ホームページ作成費	100,000	101,376	△1,376
研修会費	150,000	0	150,000
渉外費	500,000	289,762	210,238
広告費	60,000	77,000	△17,000
通信交通費	150,000	184,100	△34,100
印刷消耗品費	50,000	7,496	42,504
雑費	50,000	59,706	△9,706
当年度支出合計	2,880,000	1,824,865	1,055,135
次期繰越収支差額	16,730,598	16,259,410	471,188
支出合計	19,610,598	18,084,275	1,526,323

2. 貸借対照表

令和6年12月31日現在

中央大学会計人会

【単位：円】

科目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	11,623	26,321	△14,698
普通預金	7,308,651	7,412,126	△103,475
郵便貯金	8,939,136	9,269,151	△330,015
資産合計	16,259,410	16,707,598	△448,188
II 負債の部			
1. 流動負債	0	0	0
III 正味財産の部	16,259,410	16,707,598	△448,188
負債・正味財産	16,259,410	16,707,598	△448,188

3. 財産目録

令和6年12月31日現在

中央大学会計人会

【単位：円】

科目(内訳)	金額
I 資産の部	11,623
1 現金	
2 銀行預金等	
①三井住友銀行 上野支店 (普) No.7579585	3,126
②みずほ銀行 上野支店 (普) No.4512448	7,296,763
③三菱UFJ銀行 中野支店 (普) No.4551431	8,762
④ゆうちょ銀行 No.10020-72193211	8,913,076
⑤郵便振替預金 No.150-6-28490	26,060
計	16,247,787
資産の部合計	16,259,410
II 負債の部	0
差引正味財産有高	16,259,410

監査報告書

令和6年度決算につき、令和6年度の事業報告並びに収支報告書、貸借対照表、財産目録及び関係帳票等を監査したところ、適法に処理されておりますのでご報告申し上げます。

監事 佐藤 博司

監事 小森 輝於

(Ⅲ) 令和7年度 事業計画 (案)

令和7年1月1日から令和7年12月31日

1. 会議等

定時総会 開催 (年1回)

役員会 (正副会長会・理事会・監事)

(年3～4回)

2. 会員活動

- ①日本税理士会連合会・東京税理士会機関紙 広告掲載 (予定)
- ②中央大学学員会機関紙「学員時報」広告掲載 (予定)
- ③エヌピー通信社 税務職員配属便覧 広告掲載 (予定)
- ④会員名簿の整理及び管理
- ⑤中央大学会計人会 会報 (年2回発行予定)
- ⑥ホームページの運用及び管理
- ⑦会員研修会 開催 (年2回開催予定)
- ⑧駿台会計人倶楽部との共催 (観桜会・研修会) 参加

3. 中央大学・大学学員会の行事参加

- ①定時評議員会・定時協議員会・商議員会等に参加
- ②大学学員会全国支部長会に参加
- ③中央大学ホームカミングデー等大学行事に積極参加
- ④中央大学公認会計士試験合格者祝賀会に出席

4. 友好大学会計人会の行事等に参加

- ①友好大学会計人会定時総会等に出席
- ②全国大学会計人会サミットに参加

③大学会計人会ゴルフコンペに参加

(V) 役員改選について

(IV) 令和7年度 収支予算書 (案)

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

中央大学会計人会 【単位：円】

収入の部			
科 目	令和7年度予算額	令和6年度予算額	差 額
通常会費収入	2,000,000	2,000,000	0
支援金収入	300,000	600,000	△300,000
親睦会会費収入	100,000	200,000	△100,000
雑収入	100,000	100,000	0
利息収入	5,000	3,000	2,000
当年度収入	2,505,000	2,903,000	398,000
前期繰越収支差額	16,259,410	16,707,598	449,188
収入合計	18,764,410	19,610,598	846,188

支出の部			
科 目	令和7年度予算額	令和6年度予算額	差 額
母校支援金	300,000	300,000	0
会報費	1,200,000	1,200,000	0
総会費	200,000	200,000	0
事務局費	120,000	120,000	0
ホームページ作成費	100,000	100,000	0
研修費	100,000	150,000	△ 50,000
渉外費	400,000	500,000	△100,000
広告費	60,000	60,000	0
通信交通費	180,000	150,000	30,000
印刷消耗品費	50,000	50,000	0
雑費	60,000	50,000	10,000
当年度支出合計	2,770,000	2,880,000	△110,000
次期繰越収支差額	15,994,410	16,730,598	△736,188
支出合計	18,764,410	19,610,598	846,188

会則第7条第2項において、「会長・監事は総会において会員の中から選任し、その任期は2年とする。ただし、再選はこれを妨げない。」とあります。

具体的には、定時総会までに次期役員を推薦決定しておく必要があります。そこで、次期役員推薦にあたり、例年どおり「役員推薦検討委員会」を設置し当委員会で検討を行いました。石亀会長の指名により、「役員推薦検討委員会」の委員長に小野浩道が就任し、合わせて5名の委員が選任され協議が行われた。

慎重に協議検討が行われた結果、下記の者が会長候補・監事候補に決定し承諾された。

記

会長候補 石亀 邦俊
 監事候補 佐藤 博司
 監事候補 小森 輝於